

# 豊岡偉人伝 3

私たちの暮らしの発展に尽くし、近代日本の礎を築いた人、スポーツ・芸術の普及発展に心血を注いだ人など、豊岡にはさまざまな先人たちの心が息づいています。

その先人たちに学び、志を引き継ぎましょう。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

## 絵筆に託す愛と祈り 洋画家 伊藤清永

### 伊藤清永 (1911～2001)

出石町下谷出身 洋画家  
1996年 文化勲章受章



伊藤清永の作品は、色彩豊かで、繊細な色線を無数に重ねて描き出される輝くような豊麗優美な裸婦像で知られています。

東京美術学校で学び、在学中の第14回帝展に初出品で初入選を果たし、1936年には『磯人』(伊藤清永美術館所蔵)で文部省美術展の選奨を受賞しました。その後、白日会会員となり画家としての道を確認するとともに、本会の会長として活躍することになります。75有余年の画業の中で、一貫して正統な写実の表現を追求し続け、明るく香り高い色彩が満ちあふれる裸婦像は見るものを魅了し、深い安らぎを与えます。

### 伊藤清永美術館

伊藤清永美術館は、伊藤清永コレクションを含め250点を超える作品を収蔵し、伊藤画伯の生涯を辿ることができます。

寄贈作品だけで運営している美術館は他には類をみません。

伊藤清永画伯の代表作である裸婦の大作が並ぶ2階展示室は、ガラス瓦による全面天井採光、壁はヨーロッパ、それもパリをイメージする貝紫色の艶のあるビロード仕上げで、正面には伊藤清永画伯が25歳の若手新進画家としての地位を確立した300号(2.1メートル×2.7メートル)の『磯人』を展示しています。



▲美術館の内観



▲磯人

### 伊藤清永賞子ども絵画展

平成9年度創設。

文化勲章受章を機に、ふるさとの子どもたち(幼稚園児、小学児童、中学生徒)に夢を与えることを願い創設されました。子どもたちが絵を描くことによって、ものを見る目、優しさ、感じる心を育み、心豊かな人づくりに寄与するとともに、それぞれの創造性と表現力を高め、造詣教育の振興を目指しています。

伊藤清永賞受賞者へは、画伯制作の少女の横顔と出石の「有子山」、「辰鼓楼」がデザインされた記念のメダルを授与します。

さらに、受賞作品は額装し、本館展示室でおおよそ1カ月間展示。本年度で16回目を迎えますが、現在までの総応募点数は24,269点で18,437人の方に鑑賞していただいています。



### 釈尊伝四部作

1984年4月、伊藤清永73歳、着手から約7年を経て、母校愛知学院大学(名古屋市)百周年記念事業として講堂の壁画に釈尊の生涯の場面を描きました。「降誕」、「降魔成道」、「初転法輪」、「涅槃」の四大場面をそれぞれ縦3.8メートル、横2.7メートルの独立した縦長の画面に精魂込めて描いた作品が、「NHK土曜美の朝」で放映され、多くの人々に新たな感動をもたらしました。



▲涅槃 ▲初転法輪 ▲降魔成道 ▲降誕

●発行／豊岡市  
☎07966123  
FAX231114  
●編集／政策調整部秘書広報課

〒668-8666  
兵庫県豊岡市中央町2番4号  
URL http://www.city.toyooka.lg.jp

(総合支所)  
・竹野 ☎47-3111  
・出石 ☎52-3111  
・但東 ☎54-1100  
・城崎 ☎52-1001  
・日高 ☎54-1101  
・1000